

環境リスク低減への 取り組み

当社では、環境汚染事故の未然防止対策や事故発生時の教育・訓練などを環境マネジメントシステムに組み込み、環境リスクの低減に取り組んでいます。

今後も地域環境に悪影響を及ぼすような法令違反や異常・苦情のゼロに向けて、ヒヤリ事例を吸い上げ、情報の共有・展開を図り、一層のリスク低減に取り組んでいきます。

環境法令等の順守状況

工場排水や大気放出物質について、法基準より厳しい自主基準値を設定し、未然防止に努めています。2005年度において、環境法令違反や罰金・料料はなく、環境に関する訴訟もありませんでした。

環境事故・苦情

環境事故として、2005年10月に国分工場で休止機械の表面に付着した油が雨で流され、雨水側溝を通じて工場外へ流出しました。

すぐに常備していた油吸着マットと土嚢により応急処理を実施し、雨水側溝の油を回収しました。

是正処置として、休止機械の管理についても十分な管理体制を構築するとともに、雨水側溝に油水分離装置を設置し、再発防止を図りました。



油水分離装置

苦情については、工事に伴う騒音と粉じん苦情などが3件あり、是正処置を完了するとともに、他工場への横展開も図りました。

今後も継続的な改善を実施するとともに、ヒヤリ事例の展開により未然防止を図っていきます。

ヒヤリ事例:工場敷地内で軽微な環境影響を与えた事例

PCB機器の適正保管と管理

2006年3月末現在、PCB(ポリ塩化ビフェニル)が絶縁油に使用されていた機器は、国分・刈谷・徳島・岡崎・東京・東刈谷の6工場で適正に保管し、定期的に行政へ届出しています。

コンデンサについては、日本環境安全事業(株)のPCB処理施設で順次無害化していく計画です。

産業廃棄物処理・収集運搬業者の現地確認

全ての廃棄物処理業者および収集運搬業者に対して、年1回の現地確認を実施し、当社が委託した廃棄物が適正に処理されていることを確認しています。



焼却施設の現地確認(2005年7月)

VOC排出施設への対応

大気汚染防止法の改正により、2006年4月から塗装施設などのVOC(揮発性有機化合物)排出施設が新たに規制対象となりました。当社では対象となる設備のVOC濃度を測定するとともに届出を完了しています。

VOC排出濃度は、基準値に対し大幅に下回っていますが、化学物質の管理・削減活動の中で更なる排出低減を図っていきます。

VOC濃度測定結果

単位:ppmC

工場名	VOC濃度	基準値
刈谷	15	700
岡崎	15	
東刈谷	97	